



環境かわら版

2025年10月号(第353号)



「Let's Eco Action in Aichi」、「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催します (P2, 3)



「アクション油ヶ淵 2025」を開催します (P3)



「もりの学舎」愛知万博20周年特別企画
～ナゾトキの森～を実施しています (P5)



「第55回愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しました (P10)



モリゾー キョコロ
あいち SDGs アンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



「Let's エコアクション in AICHI」、「食品ロス削減イベント & ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催します



愛知県では、お出かけに電車やバスを使う、普段の生活で省エネを心がけるなどの環境にやさしい行動「エコアクション」の輪を広げるとともに、食品ロスやプラスチックごみ問題について皆さんに知っていただくため、環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」と「食品ロス削減イベント & ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催します。

皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。

1 日時

10月19日（日） 10:00～16:00

2 会場

乙川河川緑地（左岸）（岡崎市）

3 主な内容

(1) ステージイベント

- ・ギャル曾根さんによる食品ロス削減トークショー
- ・森野熊八さんによる食品ロス削減講演会
- ・アイドルグループ「BOYS AND MEN」（辻本達規さん、本田剛文さん）のごみゼロ社会推進トークショー
- ・「あいちエコアクション広報部」のアイドルグループ「O S ☆ U」によるライブステージ
- ・グレート家康公「葵」武将隊の演武、未来環境創造戦士エコマンダーショー



ギャル曾根さん



BOYS AND MEN
（辻本達規さん、本田剛文さん）



森野熊八さん



OS☆U

- ・「レジ袋削減取組優良店」表彰
- ・エコアクションセレモニー
（参加者にはモリゾー・キッコロのサコッシュをプレゼント（先着 500 名））



サコッシュ

(2) ワークショップ・展示等

様々なワークショップ・展示等のブースが出展され、子どもから大人まで、環境について楽しく学べます。

- ・廃油を使ったカラフルなエコキャンドルづくり
- ・SDGs や気候変動、生物多様性について遊びながら学べるゲームの体験
- ・間伐材を使った工作
- ・パッカー車投入体験
- ・昆虫の切り絵づくり
- ・遊べる段ボール体験
- ・自転車発電体験
- ・食品ロス削減すごろくの体験
- ・事業者の食品ロス削減の取組紹介 など



エコキャンドル

(3) デジタルラリー

各出展ブースにある二次元コードをスマートフォンで読み取り、ポイントを獲得するラリーを開催します。

ポイントを集めると、自動調理ポットや、おやさいクレヨン、モリゾー・キッコロのエコバッグなど素敵なエコグッズが抽選で当たります。

エコグッズのイメージ



自動調理ポット



おやさいクレヨン



エコバッグ

(4) My エコアクション宣言

「My エコアクション宣言」として、参加者の皆さんが、これから取り組むエコアクションをカードに記入し、大きなボードに貼り、一つの作品にしていくコーナーです。

参加者全員に、「あいちエコアクション・ポイント」(50 ポイント)をプレゼントします。

※ あいちエコアクション・ポイントについては Web ページをご覧ください。



4 参加費

参加費無料(事前申込不要)

5 その他

- ・公共交通機関での来場が便利な場所で開催しますので、公共交通機関をご利用ください。
- ・雨天決行(荒天中止)です。また、内容や出演者は変更となる場合があります。
- ・このイベントは、^{あえる}AEL ネット環境学習スタンプラリーの対象です。

・岡崎市の植物の魅力発信イベント「GREEN LIFE JAM」、防災イベント「URBAN SAFE LINK」も同時開催します。

・「中部産 CO₂ クレジット」を活用したカーボン・オフセットにより、イベント開催に伴う CO₂ 排出量はゼロです。

イベントの詳細は Web ページをご覧ください。

・「Let's エコアクション in AICHI」

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/ecoactionr07.html>)



・「食品ロス削減イベント&

ごみゼロ社会推進あいち県民大会」



(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r7foodloss-kenmin.html>)

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)
資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

「アクション油ヶ淵 2025」を開催します



油ヶ淵は、愛知県内唯一の天然湖沼です。この油ヶ淵への関心を深め、県民の皆さんに楽しみながら環境のことを学んでいただくため、油ヶ淵水質浄化促進協議会*は、「アクション油ヶ淵 2025」を開催します。参加は無料です。

多くの方のご参加をお待ちしています。

*油ヶ淵の水質浄化を目的として 1993 年に設置。愛知県と油ヶ淵周辺 4 市(碧南市、安城市、西尾市及び高浜市)で構成。

1 日時 10 月 25 日(土) 10:00~15:00

2 場所 油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園
(安城市東端町丸ノ内)

※体験型講座のみ、水生花園(碧南市油渕町)

3 内容(いずれも参加無料)

(1) 体験型講座(事前申込制)

「見て、さわって、学ぼう!油ヶ淵の環境と生きものの学習会」

時間 10:00~12:00

対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員 30 名程度(応募多数の場合、抽選)

申込期限 10 月 14 日(火) 17:00 必着

(2) 各種イベントブース

ア 生きものブース

「生きものタッチプール」

イ 工作ブース

「あぶちゃんオリジナルグッズ作り」

ウ 体験ブース

「木の実で作ろう!」「外来生物を知ろう!」

「水質調査体験」「水質浄化実験」

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/action-aburagafuchi2025.html>)



あぶちゃん



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「フロン類排出抑制対策に関する講習会」を開催します



フロン類は、エアコンや冷凍・冷蔵庫などの冷媒として広く使用されてきましたが、オゾン層の破壊や地球温暖化の原因となることから、使用量の削減や排出抑制が求められています。

ついては、業務用冷凍空調機器の管理者等、フロン類に係る関係者の皆様にフロン類の排出抑制等の参考としていただくため、「フロン類排出抑制対策に関する講習会」を開催します。

- 1 日時 10月30日（木） 14:00～16:30
- 2 場所 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）
9階 902会議室
（名古屋市中村区名駅四丁目4-38）

3 内容

講演1「フロン排出抑制法とフロン対策について」
フロン排出抑制法における規制内容や、
近年の動向についてお話しします。

講演2「冷媒動向について」

再生冷媒や、次世代冷媒の動向について
お話しします。

- 4 定員・参加費 120名（申込先着順）・無料

5 申込期間

10月23日（木）まで

申込フォーム

6 申込方法

右の二次元コードから申込フォーム
にアクセスし、お申込みください。



詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/07furonkosyukai.html>)



水大気環境課 大気規制グループ

電話 052-954-6215（ダイヤルイン）

「カーボンニュートラルの実現に向けた SBT セミナー」を開催します



愛知県では、SBT*認定取得等による企業の脱炭素経営を促進するため、「カーボンニュートラルの実現に向けた SBT セミナー」を開催します。

*SBT (Science Based Targets): 5～10年先を目標年として企業が設定し、国際機関が認定する、パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガス削減目標

- 1 日時 10月31日（金） 13:30～16:00
- 2 場所 名古屋商工会議所 3階 第1会議室
（名古屋市中区栄2-10-19）

3 内容

- (1) 講演「中小企業に求められる脱炭素経営とは」
（(株)ウェイストボックス）
- (2) 2024年度中小企業脱炭素経営支援事業参加企業による成果報告
（アルファフードスタッフ(株)、サンキ工業(株)、ナガイホールディングス(株)、森三樹脂(株)）

- (3) SBT 認定取得企業による取組紹介
（加賀産業(株)）

- (4) 中小企業向け支援策の紹介
（愛知県、名古屋商工会議所）

- 4 参加方法 会場参加又はオンライン視聴

- 5 定員 会場 50名、Web 500名（申込先着順）

- 6 参加費 無料（通信費は自己負担）

7 申込方法

以下のWebページにアクセスし、参加申込フォーム等により10月24日（金）までにお申込みください。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/sbtseminar2025.html>)



SBT セミナー 愛知県

検索

地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）



「もりの学舎」愛知万博 20 周年特別企画 ～ナゾトキの森～を実施しています



愛・地球博記念公園(モリコロパーク)内の「もりの学舎」(長久手市)では、(公財)愛知臨海環境整備センター(ASEC)の協賛により、愛知万博 20 周年特別企画として、公園内を巡るクイズラリー「ナゾトキの森」を実施しています。

参加費は無料で、事前申込は不要です。多くの方のご参加をお待ちしています。

(このイベントは、AEL ネット環境学習スタンプラリーの対象です。)

1 開催期間 11 月 30 日(日)まで

(もりの学舎の休館日(火曜日)を除く。)

2 開催時間 9:00～16:30

3 内容

もりの学舎や公園内各所で解答用紙(地図)を入れし、「ナゾトキポイント」を巡りながら、謎を解いていき、ゴールのもりの学舎で答え合わせをします。



過去のイベントの様子



参加特典(イメージ)

4 参加特典

もりの学舎オリジナルハンドタオルなどをプレゼントします。

詳細は Web ページをご覧ください

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r7autumn.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

「エコ モビリティ ライフ(エコモビ)」実践のススメ



愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分けるライフスタイル「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)を推進しています。皆さん一人ひとりが、「エコモビ」を実践することによって、地球環境にやさしいだけでなく、安全で健康的な生活や、機能的で活力あるまちづくりの実現につながります。

毎月第 1 水曜日は「エコモビの日」です。

まずは、月に 1 日でも、「エコモビ」をはじめませんか？



【エコモビ で、いいこと、いろいろ！】

☆ CO₂ 削減！

1 人を 1km 運ぶのに排出する CO₂ は、電車ならクルマの約 7 分の 1、バスなら約 2 分の 1 です！

☆ 継続すればダイエットに！

クルマで約 25 分の道のりを徒歩と電車で行く場合、カロリー消費量は約 2 倍になります！*

*40 歳代の男性が 10km をクルマ通勤した場合と、徒歩 10 分、鉄道 15 分、徒歩 10 分で通勤した場合の比較

☆ 交通事故リスクの軽減や渋滞の緩和も！

詳細は Web ページをご覧ください。

知って得するエコモビ実践ガイド

エコモビ 実践

検索



(<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>)

交通対策課 モビリティサービス推進グループ
電話 052-954-6125 (ダイヤルイン)

10月はクリーン排水推進月間及び浄化槽強調月間です



愛知県では、「生活排水対策に関する基本方針」に基づき、10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、市町村や浄化槽指定検査機関等と連携し、川や海などの汚れの主な原因である生活排水への関心を高めていただくとともに、浄化槽の適正な維持管理等について周知しています。

1 実践しよう！生活排水対策

浄化槽や下水道などでは、微生物の働きによって生活排水の汚れを分解し、きれいな水に処理していますが、その能力には限りがあります。汚れた生活排水を流しすぎないよう心がけることが大切です。

私たちの身近には、簡単にできる生活排水対策がたくさんあります。皆さんも、できることから少しずつ始めてみましょう。

身近な生活排水対策



洗う前に汚れを拭き取る。



水切りネットを活用する。



油は直接流さず、古新聞などに吸わせて可燃ゴミに出す。



洗剤は適量を使用する。

2 浄化槽の適正な維持管理が大切！

浄化槽の本来の機能を十分に発揮させるため、浄化槽管理者（一般住宅の場合、世帯主）は浄化槽法で、①年1回の法定検査（水質検査等）の受検、②定期的な保守点検、③年1回以上の清掃の全てを行うことが義務付けられています。



3 単独処理浄化槽は合併処理浄化槽へ転換を！

単独処理浄化槽は、し尿のみを処理し、台所や洗濯、お風呂の水は未処理のまま放流するため、川や海などの水質汚濁の大きな原因となっています。また、設置後30年以上が経過し、老朽化しているものが多いため、漏水や破損のおそれがあります。使用している方は早急に合併処理浄化槽に転換してください（下水道が供用されている地域の方は遅滞なく下水道に接続してください）。県内の多くの市町村では、合併処理浄化槽への転換費用に対する補助制度を設けています。お住まいの市町村担当課までお問い合わせください。

なお、2019年の浄化槽法改正により、浄化槽本体に著しい破損又は劣化箇所があり、汚水が漏水しているなど、そのまま放置すれば生活環境や公衆衛生上重大な支障が生じるおそれがあると認められる単独処理浄化槽（特定既存単独処理浄化槽）は、除却（撤去）等を指導されることがあります。

4 その他

県及び市町村の広報紙等で生活排水対策や浄化槽の適切な維持管理等に係る情報を掲載しています。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/clean-haisui.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
生活環境グループ
電話 052-954-6220・6219（ダイヤルイン）

地盤沈下調査結果についてお知らせします



愛知県では、1961年から継続的に地盤沈下の状況を観測・調査しています。この度2024年に実施した地盤沈下の状況調査（水準測量）、地下水揚水量等の調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 2024年の地盤沈下の状況

地盤の高さを計測する水準測量を、尾張・名古屋市地域と知多地域で実施しました。

両地域とも1cm/年以上沈下した水準点はなく、県内の地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあります（図1）。

2 地下水揚水量の状況

地盤沈下の原因の1つである地下水揚水量については、1975年度には県内で約2,500千 m^3 /日ありましたが、揚水規制などの対策により大幅に減少し、2024年度には693千 m^3 /日になっています（図2）。

3 まとめ

県内の地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあります。しかし、渇水時には、雨水など地下に浸透する水量の減少や揚水量の増加により、地下水位が急激に低下し、広範囲で地盤沈下が発生する可能性が依然としてあることから、引き続き地盤沈下の状況調査や地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000035266.html>)



地盤沈下調査結果 愛知

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
地盤沈下対策グループ

電話 052-954-6224（ダイヤルイン）

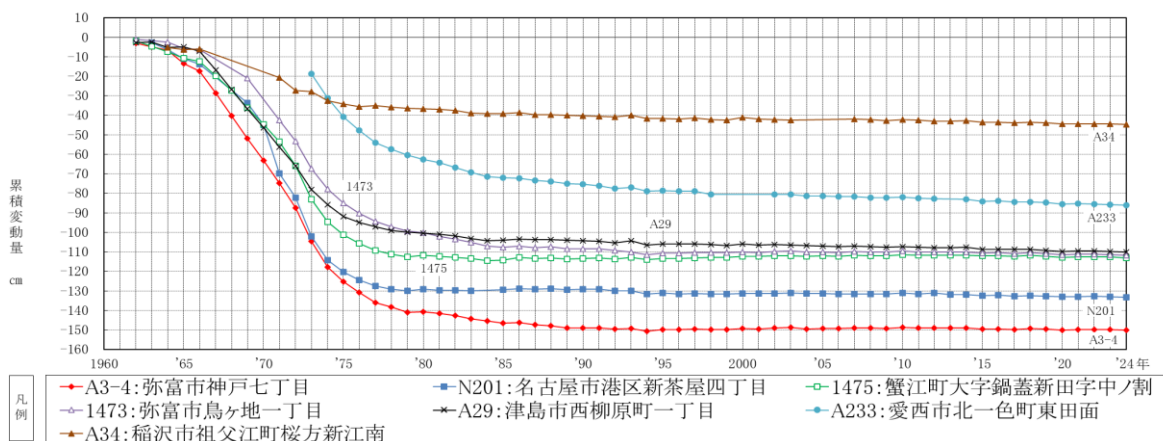


図1 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況(尾張・名古屋市地域)

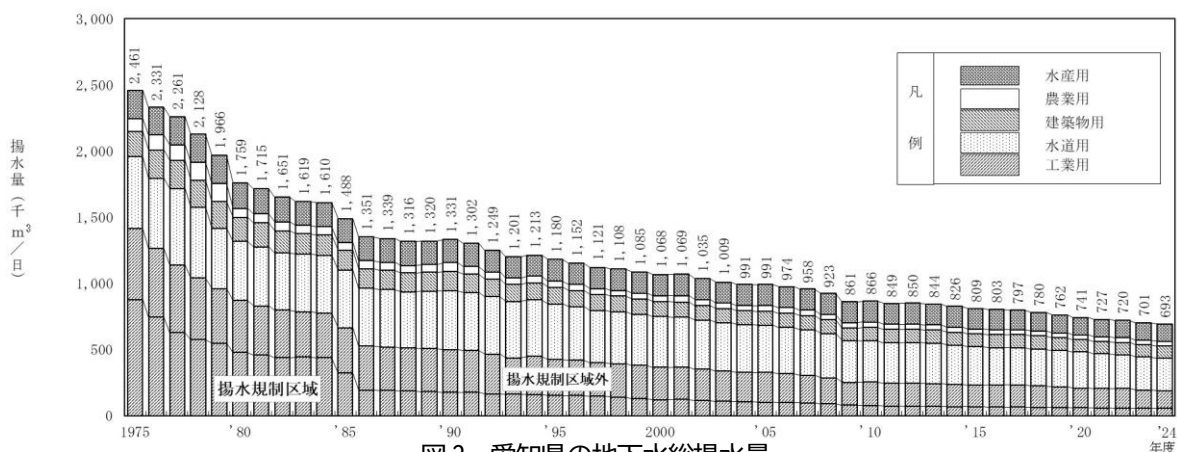


図2 愛知県の地下水総揚水量

「2024 年度交通騒音・振動調査結果」について

お知らせします



2024 年度に愛知県及び関係市町村が実施した交通騒音・振動の調査結果の概要は次のとおりです。

1 自動車騒音の環境基準達成状況

主要道路 1,199 区間 517,426 戸のうち 505,098 戸 (97.6%) で環境基準を達成しました (2023 年度は 1,190 区間 515,572 戸のうち 500,925 戸 (97.2%) で達成)。

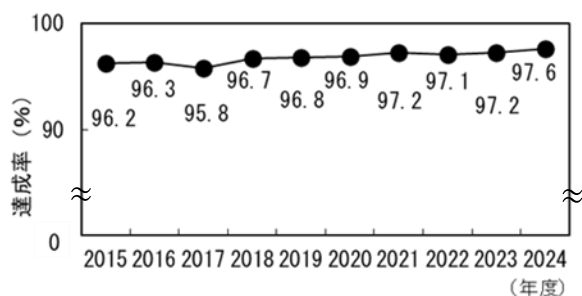


図1 環境基準達成率の経年変化 (自動車騒音)

2 自動車騒音・振動の要請限度超過状況

- ・騒音は調査地点 115 地点のうち 6 地点で要請限度*を超過しました (2023 年度は 118 地点のうち 10 地点で超過)。
- ・振動は調査地点 47 地点全てで要請限度を下回りました (2023 年度は 49 地点全てで下回る)。

* 要請限度

騒音・振動が一定の限度を超え、道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認められるとき、市町村長が公安委員会等に措置を執るよう要請する際の限度 (数値) のこと

3 新幹線鉄道騒音の環境基準達成状況

調査地点 76 地点のうち 60 地点 (78.9%) で環境基準を達成しました (2023 年度は 75 地点のうち 57 地点 (76.0%) で達成)。

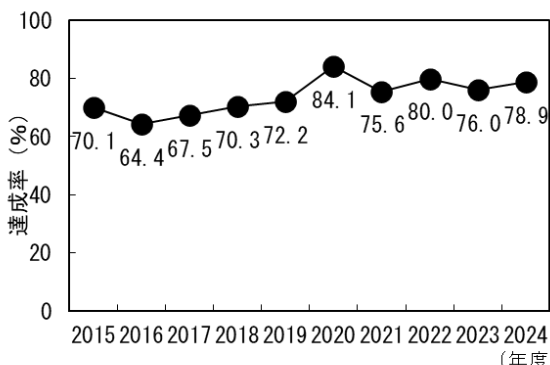


図2 環境基準達成率の経年変化 (新幹線騒音)

4 新幹線鉄道振動の指針値達成状況

調査地点 30 地点全てで指針値を達成しました (2023 年度は 30 地点全てで達成)。

5 航空機騒音の環境基準達成状況

【県営名古屋空港】

調査地点 16 地点のうち 10 地点 (62.5%) で環境基準を達成しました (2023 年度は 16 地点のうち 11 地点 (68.8%) で達成)。

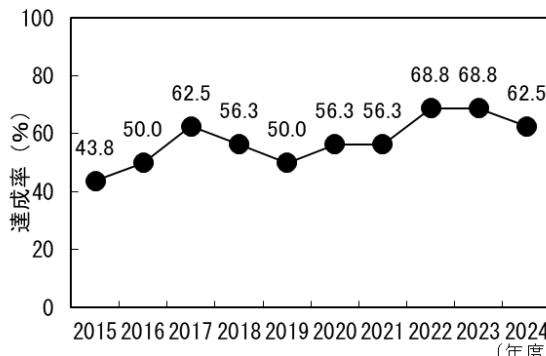


図3 環境基準達成率の経年変化 (県営名古屋空港)

【中部国際空港】

調査地点 5 地点全てで達成しました (2007 年度以降、5 地点全ての調査地点で達成)。

6 今後の対応

県及び関係市町村では、引き続き環境基準達成状況等を監視するとともに、関係機関と連携して交通騒音・振動対策を推進していきます。



騒音調査の様子

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2024souon-shindou.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
生活環境グループ

電話 052-954-6214 (ダイヤルイン)

愛知県と中国・江蘇省のユースによる 「交流プログラム」を実施しました



愛知県では、中国江蘇省との間で2018年に締結した「環境保全交流協力協定」に基づき、生物多様性の主流化と保全に関する取組を互いに推進することとしています。その一環として、この度6年ぶりに交流プログラムを実施し、8月22日から25日の4日間、江蘇省生態環境庁の職員はじめ3名の引率者および南京市にある河海大学の学生7名を受け入れ、愛知県の大学生7名とともに、生物多様性について学びました。

1 愛知県環境局長表敬訪問・オリエンテーション

交流プログラムはまず、愛知県環境局長への表敬訪問で始まりしました。互いに交流プログラムの再開を祝い、友好の証として記念品交換を行いました。

その後、オリエンテーションとして、ファシリテーターの長谷川明子先生から生物多様性を取り巻く現状について説明を受けた上で、学生同士のアイスブレイクを行いました。



環境局長表敬訪問

2 生物多様性関連施設訪問

交流プログラムでは、県内の生物多様性に関連した施設を訪問し、学習を行いました。

東山動物園では、希少な魚種のイタセンパラの保護増殖の取組紹介を聞き、種の保存をはじめとする動物園の役割を学んだほか、有松・鳴海校会館を訪問し、手拭いをそれぞれ好みの色や模様染め上げ、伝統文化の体験を通して生物多様性の恵みを体感しました。そのほか、藤前干潟や愛・地球博記念公園では、渡り鳥の飛来地や在来種の生息地を守るた

めに市民が行動を起こした歴史や、現在も継続して市民団体が活動をしていることについて聴講し、環境を守るために知ること・行動することの大切さを学びました。



藤前干潟稲永ビジターセンターでの学習

3 成果発表会

最終日には、このプログラムのまとめとして、交流を通して感じたことや学んだことの発表会を開催しました。学生からは、国や言語は違っても、ともに話し合い、学びながら生物多様性という世界共通課題のために取り組んでいけるとの感想や、今回学んだことを自分の所属するサークルへ持ち帰り、生物多様性保全のための活動を企画し行動に移したいなどの抱負が語られました。



発表会の様子

県は、今後も生物多様性保全の分野で江蘇省との交流を続け、友好関係を築きながら生物多様性保全を推進していきます。

〔自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229（ダイヤルイン）〕

「第55回愛知県野生生物保護実績発表大会」を 開催しました



愛知県では、野生生物の保護に関する普及・啓発と、環境保全意識の高揚及び生物多様性の主流化を図るため、愛知の未来を担う子供たちが主体となって実践する取組を発表する「愛知県野生生物保護実績発表大会」を1971年度から開催しています。

1 大会概要

第55回の大会は、8月28日に刈谷市産業振興センターで開催しました。

午前中は高等学校4校、午後は小学校・中学校各2校の計8校から、野鳥や水生生物、昆虫など様々な生きものの保全活動や生物調査、外来種の駆除活動など、これまで継続して実施されてきた各学校の特色ある取組が発表されました。

発表では、活動の中で遭遇する課題の解決に向けて、子供たちが専門家や地域の様々な方々と連携して、アドバイスを得ながら、自らの力で前向きに取り組んでいる様子が垣間見え、審査員をはじめ、参加者の心に大きく響きました。

参加児童・生徒の皆さんには、未来の生きものサポーターとして今後も活動を継続していただくとともに、多くの皆さんが愛知の自然や野生生物保護活動への関心を深めることが、生物多様性の主流化へつながることを願います。

愛知県知事賞受賞校による発表の様子



岡崎市立生平小学校



豊田市立滝脇小学校

2 審査結果

発表後に行われた審査の結果、岡崎市立生平^{おいだいら}小学校、豊田市立滝脇^{たきわき}小学校の2校が愛知県知事賞に選ばれました。

愛知県知事賞	
岡崎市立生平 ^{おいだいら} 小学校	守ろう！ 野鳥がすみ続ける『ふるさと生平』
豊田市立滝脇 ^{たきわき} 小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
愛知県教育委員会賞	
岡崎市立東海 ^{とうかい} 中学校	未来へつなぐ ^{たすき} 樺 ～希少生物たちと共に 生きる地域の未来～
愛知県立佐屋 ^{さや} 高等学校	ナゴヤダルマガエルの 保全に向けた水田利用 と管理体系の構築
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	
愛知県立古知野 ^{こちの} 高等学校	地域の宝、みんなで守ろう！ 木曽川のカワラサイコ！
愛知県立豊田西 ^{とよたにし} 高等学校	アメリカザリガニの幼 体駆除方法の確立 ～産・学・公連携事業 MORIBITO プロジェクト を通じて～
公益社団法人愛知県獣医師会賞	
岡崎市立河合 ^{かわい} 中学校	河合の宝 ゲンジボタル －伝統の継続 そして 一歩前進－
学校法人桜丘 ^{さくらがおか} 学園 桜丘 ^{さくらがおか} 高等学校（豊橋市）	石巻山のカタツムリ保 護活動

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/yaseihappyoutaikai.html>)



（自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229（ダイヤルイン））

EXPO2025 大阪・関西万博に出展しました



愛知県環境局では、2025 年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）で8月22日（金）から24日（日）まで開催された「あいち・なごやフェスタ in EXPO」において、生物多様性をテーマとする展示やステージイベント等を行いました。

1 ブース出展

ブースでは2種類のバナーを展示し、2005年開催の愛・地球博の計画変更で森が守られたことや生物多様性条約第10回締約国会議の開催などを紹介したほか、私たちを支える生物多様性が失われたらどうなるかを来場者に問いかけました。

また、触れる展示として、ヒノキ製の^{ます}枡を活用した生物多様性ピラミッド（陸編、海編の2種類）を用意し、来場者が実際に崩すことで、生態系の微妙なバランスの大切さを実感してもらいました。枡に刻印された職員の手書きイラストも、老若男女を問わず好評でした。



生物多様性ピラミッドに触れて
生態系のバランスを体感

場内3か所のモニターでは、「愛知発・未来を担うあなたへのメッセージ～愛・地球博からのバトンリレー～」と題した映像を上映し、愛知で環境活動に取り組む4人（NPO、事業者、ユース、学識者）からの、世代を超えた普遍的なメッセージを届けました。

さらに、愛・地球博において、自然の中での発見や感動を伝えて人気を博した「森の自然学校」のインタプリターが、当時のプログラムを再現したミニツアー「森の万華鏡」を行い、海の上の^{ゆめしま}夢洲で、森の自然が織り成す幻想的な世界へ来場者を^{いざな}誘いました。



「森の万華鏡」で自然の楽しさを発見

来場者アンケートでは、800人を超える回答が集まり、96%が「今までより自然を身近に感じるようになった」、99%が「自分も自然の一部で、生物多様性を守ることは大切だと感じた」と答えました。

2 ステージイベント

8月23日（土）の午後には、「驚き！ワクワク！身近な『いのち』と題したステージを2回開催しました。アウトドアタレントで愛・地球博インタプリターでもあった^{てつぎみきひと}鉄崎幹人さんの軽快なトークや興味深いクイズに会場全体が引き込まれました。大阪・関西万博で話題となった「ユスリカ」を題材に問いかける場面や、インタプリターによる「森の万華鏡」デモンストレーションもあり、五感と想像力に働きかけるトーク&アクティビティで、会場一体となって生物多様性の大切さを楽しく実感できました。



楽しくも深く考えさせられたステージイベント

詳細はWeb ページをご覧ください。



〔自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229（ダイヤルイン）〕

気候変動が私たちの暮らしや社会に様々な影響を与える中で、それに対応するための研究や取組が社会を支えています。

今回は、愛知県の農業の発展に寄与するため、品種改良や新技術の研究開発を行っている農業総合試験場（以下「農総試」という。）に、気候変動への適応に関する取組についてお聞きしました。

Q. 農総試として、気候変動影響への適応を、どのように捉えていますか。

地球温暖化に伴う気温上昇等の気候変動は、避けることができない現実であり、新品種の開発など新しい農業技術の開発等により対応していかなければいけないことと捉えています。

Q. 具体的な取組について、教えてください。

水稻を例に挙げると、高温による品質低下や一部の害虫・病害の増加といった影響が確認されています。生産現場からの要望を収集しながら、気候変動に伴う高温や、発生の様相が変化してきた病害虫といったリスクに対応できる新品種の開発等を進めています。

Q. 近年、水稻のほか、イチジクについても新品種を開発していますが、その開発経緯や特徴について教えてください。

初めに水稻ですが、日本の主食であり、安定した供給が求められています。このため、愛知県経済農業協同組合連合会と共同で、水稻新品種「あいちのころも(愛知135号)」を開発しました。この品種は、暑さによりデンプンの蓄積が不十分なとき等に発

生する白未熟粒^{しろみじゅくりゅう}が生じにくいことから、玄米の外観品質が優れていることが特徴となっています。

次に、イチジクですが、県の特産物であり、栽培面積(2022年)、産出額(2023年)は共に全国第1位を誇っています。農総試では、イチジクのブランド力を強化するため「愛知イチジク1号」を開発し、本県初のオリジナルイチジク品種として、本年8月に品種登録出願を行いました。高温乾燥や急激な降雨による果実品質への影響が小さく、ロスなく収穫できること、また、皮ごと食べられることが特徴となっています。

Q. 今後の課題や展望をお聞かせください。

近年の記録的な猛暑は、農産物の品質低下や収量減少等をもたらして農業経営に大きな影響を与えています。気候変動に対応した農業を目指し、高温耐性品種の育成と品目に合わせた高温対策技術の開発に取り組んでいきます。



玄米外観品質の比較

左:「あいちのころも」

右:「あさひの夢」

※左は右に比べて白未熟粒が少なく。(共に農総試提供)



愛知イチジク1号

農業分野においても気候変動への適応が求められる時代にあって、農総試における研究開発等は、今後ますます期待されます。

愛知県気候変動適応センター

(環境調査センター 企画情報部)

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第353号)

発行日 2025年10月6日

編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部

所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。